

# JAPAN POWER FASTENING

日本パワーファスニング株式会社 第53期中間事業のご報告

[平成27年1月1日～平成27年6月30日]



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のことと心からお喜び申し上げます。

第53期第2四半期累計期間(平成27年1月1日～平成27年6月30日)の事業のご報告を行うにあたりまして、株主の皆さまのいつに変わらぬご理解と温かいご支援に厚く御礼申し上げます。

さて、当第2四半期累計期間における日本経済は、円安・株高基調の継続や原油価格の低下により、景況感は緩やかな改善基調が続きました。一方で、中国ならびに新興国経済の減速感の強まりから一部で生産調整の動きが見受けられるなど先行きは不透明感が強まっています。当社グループの業績に関連の深い建築市場におきましても、新設住宅着工戸数が前年同期に比べ1.1%の増加にとどまるなど消費増税の影響が長引き低調に推移しました。

このような経済・金融環境のもと、当社グループは総合ファスニングメーカーとして作業性、耐久性、耐震性等付加価値の高い製品の開発・販売に引き続き取り組むとともに、販売価格の改定交渉や原価低減・経費削減に取り組んでまいりました。しかしながら、住宅着工件数が低迷したことに加え、一般建築物におきましても物件数が少なかったため、当第2四半期累計期間の売上高は3,863百万円と前期に比べ9.7%の減収となりました。売上減

に加えて、前年同期に比べ大幅に円安が進んだことにより中国子会社生産品の採算が悪化し、誠に遺憾ながら当期純損益は345百万円の損失(前年同期は81百万円の損失)となりました。

なお、今期の配当につきましては、厳しい経営環境に鑑み誠に遺憾ながら無配となる見込みです。

株主の皆さまには、心からお詫び申し上げます。

現在、当社では、人件費を含めた全社的な経費削減を進めることはもちろんのこと、販売価格の改定や、円安により競争力を失った中国子会社生産品の国内移管等不採算品の抜本的整理・改善を進めており、第3四半期以降徐々に効果が出てくるものと思われれます。また、ガスツールの新モデル投入や、高層化する住宅市場への商品ラインナップの強化等市場開拓を強力に進め、売上の回復をはかってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、これからも引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

日本パワーファスニング株式会社

代表取締役社長 **土肥智雄**

## 建築用ファスナーのトップメーカーとして 最適かつ安全・安心なファスニング製品を提供し、 皆さまの快適な生活をサポートしてまいります。

### 建築用ファスナー及びツール

鋼材、木材、コンクリート、石膏ボード、ALC(軽量気泡コンクリート)に対応したさまざまなファスニング製品を提供しています。



### 住宅用金物

大手住宅メーカー向けに、プレハブ住宅をはじめとした鋼構造住宅の部材接合に用いられる金物を提供しています。



### 自動車・家電用部品

中国国内で日系メーカーへ自動車・家電用部品を提供しています。



### ソーラーパネル組立

これまでに培ったファスナーの製造技術、ノウハウを活かし、平成22年1月よりソーラーパネルの組立生産を行っています。



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	〔平成27年 1月 1日から 平成27年 6月 30日まで〕	〔平成26年 1月 1日から 平成26年 6月 30日まで〕
売上高	3,863	4,280
売上原価	3,234	3,318
売上総利益	629	961
販売費及び一般管理費	966	967
営業損失 (△)	△ 336	△ 5
営業外収益	55	76
営業外費用	54	122
経常損失 (△)	△ 336	△ 51
特別利益	-	-
特別損失	1	1
税金等調整前四半期純損失 (△)	△ 337	△ 53
法人税等	8	28
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△ 345	△ 81
四半期純損失 (△)	△ 345	△ 81

### 1 売上高

#### 9.7%減

売上高は、前年同期比416百万円(9.7%)減少しました。うち、建築用ファスナー及びツール関連事業が前年同期比434百万円減収の3,540百万円、自動車・家電等部品関連事業が前年同期比17百万円増収の318百万円となりました。

### 2 営業損失

#### 336百万円

売上減少に加え、前年同期に比べ大幅に円安が進んだことにより中国子会社生産品の採算が悪化した結果、336百万円の営業損失となりました。

### 3 経常損失

#### 336百万円

営業損失の計上により、336百万円の経常損失となりました。

### 4 四半期純損失

#### 345百万円

上記までの要因により、345百万円の四半期純損失となりました。

## ④ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (平成27年6月30日現在)	前期末 (平成26年12月31日現在)	科目	当第2四半期末 (平成27年6月30日現在)	前期末 (平成26年12月31日現在)
<b>◎ 資産の部</b>			<b>◎ 負債の部</b>		
流動資産	6,197	6,159	流動負債	5,275	4,893
固定資産	5,891	5,953	固定負債	2,287	2,364
有形固定資産	3,755	3,875	負債合計	7,562	7,257
無形固定資産	183	193	<b>◎ 純資産の部</b>		
投資その他の資産	1,952	1,885	株主資本	3,558	3,987
資産合計	12,088	12,112	その他の包括利益累計額	967	867
			純資産合計	4,526	4,854
			負債・純資産合計	12,088	12,112

## ④ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 [平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで]	前第2四半期累計 [平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 522	△ 36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 26	△ 190
財務活動によるキャッシュ・フロー	506	47
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△ 9
現金及び現金同等物の増減額	△ 36	△ 188
現金及び現金同等物の期首残高	638	1,241
現金及び現金同等物の四半期末残高	602	1,053

### 5 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、キャッシュ・フローは522百万円の支出(前年同期は36百万円の支出)となりました。これは主に四半期純損失の発生、売上債権の増加並びに仕入債務の減少等によるものであります。

### 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、キャッシュ・フローは26百万円の支出(前年同期は190百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

### 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、キャッシュ・フローは506百万円の収入(前年同期は47百万円の収入)となりました。これは主に借入れの増加によるものであります。

## トラックファーストニューモデル TF1200JQを発売いたします！

このたび、当社は多くのお客様にご愛用いただき、高い評価をいただいておりますガス式釘打ち機トラックファーストのニューモデル『TF1200JQ』の販売を開始いたします。

これまで多くのお客様にご愛用いただき、たくさんの建築現場で活躍してきたトラックファーストがモデルチェンジにより、さらにお客様のご要望に応える製品に生まれ変わりました。今後も、当社はお客様のさまざまな問題解決に貢献する製品を提供し、社会に求められる企業であり続けます。



▲ TF1200JQ



▲ ソフトバッグ

### 製品の特長

#### 1 標準搭載マガジンのピン装填数が20本から30本に！

装填数を増やすことで、ピン装填の手間を省き、施工スピードのアップを実現しました。

#### 2 グリップを細くして持ちやすさアップ！

持ち手の形状を改良してフィット感を向上させ、さらなる施工省力化に貢献します。

#### 3 新たにバッテリー-OFFモードを搭載し、バッテリーが長持ち！


未使用時、保管時にOFFにしておけば、バッテリーの消耗を防ぎます。

#### 4 ソフトバッグにより、収納・持ち運びがより便利に！

収納ケースをハードケースからソフトバッグに変更し、コンパクト化と軽量化を実現しました。



## 株主メモ

● 事業年度末	毎年 12月31日
● 定時株主総会	毎年 3月
● 期末配当受領株主確定日	毎年 12月31日
● 中間配当受領株主確定日	毎年 6月30日
● 株主名簿管理人及び特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ	 0120-288-324(通話料無料) <a href="http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/">http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/</a>
● 上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
● 証券コード	5950
● 公告掲載方法	日本経済新聞に掲載いたします。

## 株式に関する諸手続きについて

- 当社株式に関する各種お手続き(住所変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株の買取請求、姓名等の変更等)につきましては、口座を開設されている証券会社にお申し出ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座管理機関(みずほ信託銀行株式会社)にお申し出ください。
- 未受領の配当金につきましては、上記株主名簿管理人(みずほ信託銀行本支店)にお申し出ください。